

市有建築物省エネ導入項目 設計時チェックシート

工事名		工事							
配慮項目	省エネ標準項目	チェック欄							
		区分	該当の有無	導入状況	庁舎A □	庁舎B □	学校 □	住宅 □	
建物の熱負荷抑制	外皮性能	屋根の断熱	建築	□	□	○	○	○	○
		外壁の断熱(エアフローウインドウ、ダブルスキン含)		□	□	○	○	○	○
		床の断熱		□	□	○	○	○	○
		屋上緑化		□	□	○	○	○	△
		外壁緑化		□	□	△	△	△	△
		複層ガラス(Low-E含む)		□	□	○	○	○	△
		高気密・高断熱な建具 ※1		□	□	○	○	○	△
		日射遮蔽(庇、縦ルーバー等)		□	□	○	○	○	○
自然エネルギーの利用	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電	電気	□	□	○	○	○	○
		屋光連動制御		□	□	○	○	○	-
	自然エネルギーの直接利用	ナイトパージ	機械	□	□	○	-	-	-
		外気冷房		□	□	○	-	-	-
		太陽熱利用設備		□	□	○	△	△	-
		クールヒートトレンチ、地中熱利用システム		□	□	△	-	△	-
「地球温暖化対策」の推進	設備システムの高効率化	トップランナー変圧器	電気	□	□	○	○	○	-
		人感センサー		□	□	○	○	○	△
		タイムスケジュール制御		□	□	○	○	○	△
		スイッチ回路の細分化		□	□	○	○	○	△
		LED照明		□	□	○	○	○	○
		高輝度誘導灯		□	□	○	○	○	○
		再生電力の利用(エレベーター)		□	□	○	△	△	△
		再生電力蓄電システム(エレベーター)		□	□	△	-	-	-
		エスカレーター人感制御		□	□	○	○	○	-
		コージェネレーション		□	□	△	-	-	-
		熱源機器台数制御		□	□	○	-	-	-
		高効率機器(熱源、空調機、冷却塔、ポンプ)		□	□	○	-	-	-
		エアコン(APF又はAPFP最高値) ※2	□	□	○	○	○	-	
		エアコンのセンサー機能(人感、温度等)	□	□	○	○	○	-	
		潜熱回収型給湯器	□	□	○	○	○	△	
		ヒートポンプ給湯機	□	□	○	△	△	-	
		全熱交換器	□	□	○	○	○	△	
		空調機可変風量制御	□	□	○	-	-	-	
		空調用ポンプインバーター制御・台数制御	□	□	○	-	-	-	
		大温度差空調(冷温水)	□	□	○	-	-	-	
		換気量制御(CO2)	□	□	○	○	○	○※3	
		高効率電動機ファン	□	□	○	-	-	-	
		蓄熱	□	□	○	-	-	-	
		設備システムの効率的運用	モニタリング	デマンド監視装置	電気	□	□	○	○
自動制御・中央監視設備	機械			□	□	○	-	-	-
BEMS	機械			□	□	△	-	-	-
資源・マテリアル対策	節水	節水器具	機械	□	□	○	○	○	○
		トイレ用擬音装置		□	□	○	○	○	-
	雨水利用システム導入	雨水利用	□	□	○	△	△	-	
	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント	建築	□	□	○	○	○	○
非構造材料におけるリサイクル材の使用		再生砕石・再生資材		□	□	○	○	○	○
「ヒートアイランド対策」の推進	敷地内温熱環境の向上	敷地内緑化	建築	□	□	○	○	○	○
	温熱環境悪化の改善	高反射率塗料	建築	□	□	△	△	△	△
BEI(床面積の合計が300m2以上の新築・増改築に限る)			≦ 0.8		≦ 1.0(市営住宅)				

凡例 ○:原則として適用(設計時に当該項目の適用を前提とした検討を行う。)

△:適用を検討(設計時の項目比較検討は必ず当該項目を加えて行う。)

-:原則として適用外(通常は適用外となるが、施設の特別な事情等により適用することを否定するものではない。)

注記 ※1:気密性等級A-4(樹脂製建具)又は断熱性等級H-1以上(アルミニウム製建具、鋼製建具、ステンレス製建具)

※2:各メーカーにおいてAPF(JIS B 8616:2015)又はAPFP(JIS B 8616:2015)が最高値のラインナップとする。

※3:教室は対象外とする。

庁舎A:中央式空調設備を採用する大規模庁舎、庁舎B:個別式空調設備(パッケージ型エアコン等)を採用する小規模庁舎